

北海道議会議員(手稲区) すだ靖子後援会ニュース

発行所
すだ靖子事務所
Tel 691-8585
札幌手稲区手稲本町
2-2-12
発行責任者
林 武 司

お気軽にお立ち寄りください

すだ靖子連合後援会

〒006-002札幌市手稲区手稲本町2-2-12

☎ 011-691-8585

FAX-011-691-8586

サハリン州政府や州議会など訪問 農業や観光など北海道に期待



佐野法充（豊平区）・すだ靖子（手稲区）・橋本豊行（釧路市）

7月に道議団の仲間と経済交流を目的に初めてサハリンを訪れた。稚内港から朝一番のフェリーでサハリン州コルサコフ港へと向かう。乗船時間は5時間半、時差は2時間、行きは時計の針を進める。入国手続きに3時間待たされた。一時に100名以上が到着したことやパソコンが導入され打ち込みながらの手続き等、しかし一番の問題は職員の仕事に対する姿勢と感じた。

サハリンの人口は約52万人で民族構成はロシア人が80%を占めウクライナ人や朝鮮人など118民族が暮らす。主要産業は石油・天然ガス・石炭採掘事業、漁業・水産加工業で、一般の労働者の平均賃金は一ヶ月約10万円。石油関連事業に携わる事業家など5%が富裕層で残り95%は貧困。物価が高く、物価上昇率は4年で2.3倍でガソリンは半年で40%上昇し160円とのこと。

間もなく本格操業されるサハリン2 LNGプロジェクトは液化天然ガスを製造し、日本へも輸出の予定だ。サハリン2の雇用はピーク時は2万5千人働いており、現在は7千人、来年は200人程に縮小することから、パイプライン完成後は雇用が心配されている。

日本は製鉄会社や電力会社が使用する石炭を年間約1億8千万トンを遠いオーストラリア、インドネシアから輸入している。サハリン州は石炭を年340万トン生産しており、輸出先として日本に高い関心を持っている。日本にとっても近隣からの輸入は輸送費などコスト削減になるが、サハリンから大量に石炭を積み出すには大型船が入港できるよう海底を深く掘り下げるなど港湾の整備等が必要で、検討すべき課題が多く、商談に入れない状況だ。今回サハリン州政府や州議会など11カ所を訪問し意見交換や現地視察を行ったが、多くの方から農業や観光など北海道に期待する声があり、身近な存在だったようだ。サハリン州と北海道は相互の利益のためにも友好関係が大切と実感した。



2008 7 31